

## 連合愛媛 制度・政策要求として 中村知事に「要求と提言」 を要請!

### 県内学校再編に伴う 閉校施設の利活用について 市町との連携を求める!

2024年12月25日(水)愛媛県庁知事会議室において、2025年度の「制度・政策要求」を行いました。

冒頭、菊川会長より「先送りできない課題として、物価高騰対策や防災・減災対策を柱とした補正予算が示された。本日の「要求と提言」は、その延長戦であり、閉校施設の利活用についてのお考えを聞かせたい。」とあいさつしました。

中村知事からは、「県立高校の再編については、時間をかけて地域とも話し合いを行い、様々な意見のなか、少子化や生徒ファースト(同級生の人数・学校行事・クラブ活動など)を考え、55校を45校に集約することとしたが、松山南高校砥部分校では、地域や町の取り組みもあり、新しい科をつくる取り組み(ゲームクリエイションコースの新設・定員数拡大)により全国から生徒を募集することとなっている。廃校予定の10校の内1校は防災拠点として県が活用し3校は市町に譲渡することとなっている。以前は、廃校活用に細かいルール(文科省)があったが、現在では転用における申請も簡素化され、市町での廃校後の活用について、地域コミュニティも含め議論し決めていくこととなる。」と述べられ、防災・減災対応なども含め政策に反映していくことをお願いし終了しました。



## 連合「2025四国ブロック 第1回女性会議」を開催

### ～ 真の多様性が根付く職場・社会の 実現を目ざす取り組みを確認! ～

1月18日(土)徳島グランヴィリオホテルにおいて、「2025四国ブロック第1回女性会議」が開催され、連合愛媛の女性委員会メンバーと事務局の4名で参加しました。

本部提起では、菅村ジェンダー平等推進局長より、ジェンダー平等の推進、多様性を認め合う社会の実現に向けて、運動方針に「重点分野-3 ジェンダー平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された「真の多様性」が根付く職場・社会の実現」に関する事を明記する意義として「改正育児・介護休業法」「改正次世代育成支援対策推進法」の趣旨は、「子の年齢に応じてフルタイムで残業をしない働き方やフルタイムで柔軟な働き方を希望する割合が高くなっていくことから、男女とも希望に応じて仕事・キャリア形成と育児を両立できるようにしていく必要がある。

また、労働者の仕事と育児の両立支援のニーズに対応する為、「柔軟な働き方を実現するための措置」の制度等の周知とその利用の意向を確認するとともに、子や各家庭の状況に応じた個々の意向に配慮する必要がある。」等の説明がされました。

質疑では、多数の討論が行なわれ、介護育児休業やハラスメントなど多岐にわたり見識を深めることができました。

19日(日)は、各県の取り組み報告があり、連合愛媛からは西川女性委員会委員長より、2024年度女性委員会の特徴的な取り組みとして、「青年委員会と合同で原爆写真展の開催や、ユースフォーラムの開催など、これまでも取り組んできた内容だが、企画・運営については自発的に取り組んでいる。」と報告しました。参加者からは、「他県の取り組みを知ることで、連合愛媛の女性委員会で取り入れたい事例など参考になった。第2回の女性会議では、戦後80年の節目でもあることから、連合広島と交流を検討してはどうか？」など感想・意見が述べられました。



## 連合四国 ブロック 2025 春季 生活闘争推進会議

### ～ 連合本部方針内容の共有をはかる ～

1月20日(月)四国ろうきん松山ビルにおいて、連合四国ブロックの2025春闘推進会議が開催され、連合愛媛中小共闘センターから11名が参加しました。

冒頭、連合総合推進局の小菅労働条件・中小地域対策局長より、2025春闘方針について、方針決定に至るまでの情勢分析や方針および各種取り組みについて説明を受け、参加者との意見交換を行いました。

その後、参加の各地方連合から、春闘方針(案)の詳細について報告を行い、方針に掲げる引き上げ額の設定根拠や、その他の取り組みについても全体で共有しました。



## 連合愛媛 各地域協議会 第15回定期総会を開催!

連合愛媛 中予・今治地域協議会は2024年12月14日(土)、南予地協2025年1月18日(土)、東予地協1月19日(日)に定期総会を行いました。各総会では、報告事項および2025年度の活動方針や役員体制が確認され、新たな活動がスタートしました。

今総会で退任された役員の方には、これまでの連合運動に対するご支援とご協力に感謝申し上げます。